



2025～26 年度国際ローター・テーマ  
RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

鹿屋西ロータークラブ週報

WEEKLY REPORT

**NEWS**

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2156回



2026年5月17日(日) 地区研修・協議会 (地区ラーニングアセンブリー) 於：鹿児島サンロイヤルホテル

**2026年1月09日 [ 全員クラブ協議会 ]**

◆ゲスト紹介

鹿児島県東部グループガバナー補佐  
黒木 克大 様 (志布志みなと RC)

◆ビジター紹介 (1/5)

[かのや東 RC] 日高裕二さん、久留正嗣さん  
森 健一さん、飯隈章一郎さん  
駆川 恒さん

◆会務報告

1. インターシティミーティングの前日・当日の協力のお願について
2. 下期普通寄付金のお願 (米山記念奨学会)
3. 台北国際大会ガバナーナイトならびに姉妹地区 3482 地区 (台北) との懇親会のご案内  
日時：2026年6月12日(金)17:00～  
会場：典華幸福大楼
4. 鹿屋市国際交流協会の在り方について (アンケート調査実施)
5. 令和8年地域づくり交流事業実行委員会 第1回例会のご案内  
日時：令和8年2月10日(火)12:00より  
場所：ホテルこばやし
6. ハイライトよねやま Vol. 310
7. 週報 …… かのや東 RC
8. ご契約中の割引サービスの見直しについて (NTT 西日本)
9. 国際ローター第 2730 地区 PELS (会長エレクト・ラーニングセミナー) のご案内  
日時：2026年3月14日(土)・15日(日)  
場所：鹿児島サンロイヤルホテル



| 次回プログラム  |         |
|----------|---------|
| 1月26日(月) |         |
| 卓話者:     | 西丸晴彦さん  |
| 担当委員会:   | 会員増強委員会 |
| 3分間スピーチ: | 有川文人さん  |
| 出席報告     |         |
| 会員数      | (35)39名 |
| 出席数      | 31名     |
| 出席率      | 88.57%  |

| メイクアップ情報 |  |
|----------|--|
| 鹿屋       | 01月21日 ⇒1/17(土)鹿屋市体育館<br>なわとびチャンピオン大会    |
| かのや東     | 01月22日 (木)KTS鹿児島テレビ<br>昼食後、職場訪問          |
| 串良       | 01月19日 (月)セントラント道の駅                      |
| 志布志      | 01月20日 (火)大黒リゾートホテル                      |
| きもつき     | 01月21日 (水)食楽かんとろう18:30<br>新春家族会・ゾロバスタブ合同 |
| 南九州大崎    | 01月22日 (木)螢 18:30～                       |
| 志布志みなと   | 01月21日 (水)大黒リゾートホテル                      |

**鹿屋西ロータークラブ**

会 長：久木田 弘

副会長：山崎 隆夫

幹 事：西ノ原庄一



例会日 月曜日 12:30～13:30

例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212

事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10  
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959

E-mail [kanoya24@po5.synapse.ne.jp](mailto:kanoya24@po5.synapse.ne.jp)



## 会長あいさつ

久木田会長

皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中は鹿屋西ロータリークラブの活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2026年は「丙午（ひのえうま）」の年にあたります。丙午は古くから、強い情熱と行動力を持つ年とされる一方、さまざまな言い伝えも残されています。しかし、現代において私たちは、丙午を「変化を恐れず、新しい道を切り拓く力強い年」と前向きに捉えることができるのではないのでしょうか。情熱と、馬のような前進力でロータリーの精神に通じる年にしたいと思います。

本年度のスローガン「よいことのために広げよう、楽しもうロータリーを」のもと、会員の皆さまと共に、楽しみながら奉仕し、笑顔の輪を地域へと広げてまいりました。

奉仕とは義務ではなく、心からの喜びであり「誰かのために行動する喜び」を共有し、クラブの絆をさらに深めていきたいと思えます。

丙午の年にふさわしく、一歩踏み出す勇気を持ち、仲間と力を合わせ、鹿屋西ロータリークラブらしい温かさと行動力で、地域社会に明るい未来を灯してまいりましょう。

結びに、本年が会員の皆さまお一人おひとりにとって、健康で実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



乾杯の挨拶（直前会長） 締めの挨拶（会長エレクト）

## ◆1月誕生者祝



山崎隆夫さん、内田秀行さん、吉行哲宏さん

## ◆出席表彰（皆勤）



風呂井敬さん（36年） 山下俊也さん（3年）



ローターニュースより

## 「持続可能なインパクトを生み出そう」と オンラインカ・ババロラ氏が会員に呼びかけ

1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオンラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

週報担当：前田（数）